令和６年度事業報告

第1　概況

我が国の人口減少・高齢化は、世界に例を見ない急速なスピードで進展しています。高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生 100 年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、地域の特色や実情を踏まえて取組みを強化しております。

三重県内の労働市場については、令和７年３月の有効求人倍率が 1.19 倍であり、企業における求人意欲があるものの、改善の動きに一部で弱さが見られ、物価上昇が雇用に与える影響にも注意する必要があります。一方、高齢化の急速な進展や労働力人口の減少により、高齢者の社会参画は、以前に増して労働力の担い手として期待されています。

三重県シルバー人材センター連合会（以下「三重県連合会」という。）では、平成 30 年３月に策定された「第２次会員 100 万人達成計画」をもとに、「三重県シルバー人材センター第４次中期計画（令和３年～令和７年）」を策定しています。これに基づき、県内各シルバー人材センターにおいて会員拡大を最重点課題として取り組んできたところでありますが、令和２年４月以降は、新型コロナウイルス感染症などの影響により、会員数が下げ止まらない状況にあります。当面、一日も早くコロナ前の水準（令和元年度）の会員数（11,000 人）に回復させるべく、新たな目標に取組みました。しかし、女性会員の拡大、退会抑制に重点を置いて取組を強化したものの令和元年度の水準になかなか到達出来ない状況に悩まされました。

受注面では、令和７年３月末現在での請負による契約金額は約 47 億６千１百万円で、前年度比 1.2%増となっています。派遣での契約金額は約 12 億９千１百万円、前年度比 2.0%増となっており、本年度も回復傾向が見られ３年連続の増加となっています。

新規会員の獲得について、三重県連合会では県下全域を対象として、今後さらに増えるものと予想されるサービス業等の人手不足業務や地域の担い手が不足している介護周辺業務、育児支援を中心とした福祉・家事援助サービス事業の就業拡大、入会への関心を高めるための情報発信など、会員の拡大に直結する取り組みを行いました。また、ハローワークにおける求職者へのシルバー事業の情報

提供や就業情報の配布など、行政の協力を得るなどして会員拡大への支援を行いました。しかしながら、これらの取組みを行っても、令和 7 年 3 月末の会員数は 10,068 名と、令和 6 年度期首に比べ 145 名の減少となりました。

就業時の安全確保対策については、三重県連合会で毎月開催している安全衛生委員会を通じて、派遣会員の労災事故の再発防止、未然防止対策を推進してきました。また、シルバー派遣実施センターの業務面での支援や今後派遣業務を開始するセンターの支援を行いました。

さらに、デジタル化の推進・充実を図ることが喫緊の課題となっております。スマホを活用した業務連絡などデジタル技術を活用した業務の効率化を図る必要があり、このための基盤整備が必要となります。まずは、会員のデジタルリテラシー（デジタル技術を理解し活用する能力）の向上に繋がる取組みを支援しました。

請負・委任の業務においては、経理事務の煩雑化が予想できる中、各センターが円滑な対応ができるよう情報発信に努め、10 月に公益法人制度改革に関連し、会計士・税理士事務所による経理事務担当者研修会を開催しました。また、フリーランス法（令和 6 年秋）の施行に伴い、業務委託契約の見直しやその見直し時期など、各センターの実情を踏まえた対応策についての相談・助言を行いました。

高齢者活躍人材確保育成事業では、新規会員拡大を優先課題として可能な限りの周知・広報活動及び就業体験・技能講習を各センターの協力を得て開催し、会員の拡大に繋がる事業の推進を図りました。

以上の取り組みを県内各センターと三重県連合会が緊密な連携を図りながら、次に掲げる事項を重点として取組み、それぞれの役割と特性に応じた事業を展開することが出来ました。

個別の事業実施状況は、次のとおりであります。

第2　事業実施状況

1　シルバー人材センター事業

(1) 安全就業及び適正就業推進事業

① 事故件数

重篤事故（※）は 6 件（請負 1 件、派遣 5 件）となり昨年度より 2 件減少した

（※）請負は一ヵ月以上入院、派遣は一ヵ月以上休業

② 三重県安全就業推進大会

令和 6 年 7 月 11 日　(16 センター・56 名参加)

③ 安全・適正就業パトロール
安全・適正就業対策推進委員会、センター安全就業対策推進委員等の協力を得て、7 センターに於いてパトロールを実施し、取組状況の聴取や作業現場に於ける安全就業の点検等を実施

④ 安全・適正就業対策推進委員会
第 1 回　令和 6 年 6 月 25 日(Zoom)
第 2 回　令和 7 年 2 月 13 日(Zoom)

⑤ 適正就業にかかる請負・委任受注内容点検(全 27 センター)
適正就業の内容について理解が進んでいると判断できる
一部書類不備などがあったため、是正内容を説明

(2) シルバー派遣事業

シルバー派遣を行う 15 センターのうち、10 センターについては、契約金額が前年度に比べ増加した。

① 派遣事業推進委員会
第 1 回　令和 6 年 9 月 3 日
第 2 回　令和 7 年 2 月 12 日

② 派遣元責任者講習の受講
令和 6 年 9 月 11 日　京都府、参加者 8 名
令和 6 年 10 月 29 日　大阪府、参加者 8 名

(3) 普及啓発事業

① 広報誌「シルバーみえ」第 42 号の発行
令和 6 年 12 月　11,500 部作成、配布

② 会員募集チラシ・ポスターの作成、配布
三重県の協力を得て県内コンビニ（ファミリーマート）で配布

③ 普及啓発促進月間(10 月)および「シルバーの日」活動
三重県シルバーの日　…10 月 19 日(土)とし、各センターで活動

④ 広報・会員募集活動
県内公共職業安定所内での会員募集チラシ、就業情報の掲示
各公共職業安定所主催の高年齢者就職面接会での事業紹介、会員募集実施

(4) 経験交流・研修事業

① 理事、事務局長、職員を対象とした分野別研修会
・適正就業・業務担当研修会(Zoom)
令和 6 年 8 月 22 日

・令和 6 年度経理事務担当者研修会（ハイブリッド）
令和 6 年 10 月 10 日
・シルバー人材センターの現状と今後について
（講師：全シ協事務局長）　令和 6 年 11 月 21 日

② 全シ協、東シ協主催の交流・研修参加推奨
安全就業指導員会議、適正就業担当者会議、経験交流大会への参加推奨

(5) 指導相談事業
三重労働局および三重県のセンター指導監査に立ち会い
同時に三シ連としての個別指導を 10 センターに対して実施

(6) 福祉・家事援助サービス事業
① 福祉・家事援助サービス月間(12 月・1 月)
13 センターにおいて活動実施
② 高齢者活躍人材育成事業技能講習の場での普及啓発
③ シルバーいきいきフェスタ
令和 6 年 10 月 23 日
参加 14 センター、一般参加も含め、約 400 名

(7) 有料職業紹介事業
① 有料職業紹介実績はなし
② 有料職業紹介責任者講習の受講
令和 6 年 12 月 17 日　大阪府、参加者 6 名
令和 7 年 1 月 21 日　東京都、参加者 1 名

2　高齢者活躍人材確保育成事業

(1) 事業目標に対する結果
令和 6 年度事業目標値の新規入会者数 177 人に対して、200 人の新規入会者数となり、目標を達成

(2) 周知・広報活動
①ポスター掲載
拠点シルバー、ハローワーク、三重県運転免許センターなどに設置
②新聞・テレビコマーシャル等
就業者向け、および企業等の人事担当者向けに制作、配信

(3) 就業体験、技能講習

8 項目 12 会場で実施、受講者 81 名。(受講者アンケートを実施)

(4) 企業ニーズ把握

県内 500 社にアンケート実施、回答 120 社について情報展開

3　会議の開催（開催回数、会議形式）

(1) 理事会（開催回数 2 回）
(2) 定時総会　6 月 18 日
(3) 事務局長会議　（開催回数 5 回、Zoom 及びハイブリッド）
(4) 理事長座談会　11 月 21 日

以　上